

医療支援第2陣 3階病棟 原看護師が同行します！

～西原医師・信野事務次長とともに3名のチームで出発します～

3階病棟の原看護師より支援の希望が出され、第2陣は3名のチームになりました。震災発生から3週間を経過し、現地では、直後とは違った要求が出てきていると思われます。3名の方、がんばってきてください！

4月3日、日曜日ですが14時15分共立病院玄関前に集合して出発します。時間が取れる方がありましたら、見送り、激励をお願いいたします。

- ★ 日本医師会のJMATの医療チームとしての登録を県医師会を通じて行いました。しかし、県医師会によると、補償の対象になるかどうかは日本医師会が決定するそうですので、医師会の指揮下に入らない医療支援が補償の対象になるかどうかはまだ不透明です……

◆放射線技師の支援は4月28日まで組織できたそうです。5月以降の支援については未定のように追ってお知らせがあるようです。放射線業務以外で放射線技師が支援に入ることはこの限りではありません。

いま、介護職の出番！

「被災地域・避難所に私たちのケアを届けよう」

震災から3週間が経過し、医療支援とともに中長期を見据えた、介護・生活に重点を移した支援が必要になってきています。避難所生活が長引く中で、特に高齢の被災者は、体力の低下、意欲の低下、孤立化などの厳しい状況が生まれています。また、認知症がある高齢者にとっては、避難所での生活は困難だけれども帰る家がないという深刻な状況です。そういう中で、ニュースにも紹介されているように、「洗髪隊」、肩もみ・マッサージ、足浴、爪切り、おしぼり隊、体操、レクレーションなど、避難所生活を支える介護職ならではの多彩な活動が求められています。その他さまざまな相談ごとがあるでしょう。高齢者の居場所づくりは急務です。全日本民医連は、介護支援に取り組むことを決めました。介護職としての得意分野を生かして支援活動をひろげていきましょう。

- ◎ あらかじめ、支援予定者を登録しておき、坂病院を拠点にして、宮城野の里（高齢者福祉施設）、長町病院（回復期リハビリ病棟）へのシフトも組まれるようです。

支援物資の取り扱いについて！

現在、支援物資の受付を再開し、水や粉ミルク・保存のきく食料品、衛生用品などを中心に拠出をお願いしています。一応の締切を4月5日までとしています。

全日本民医連としては、4月半ばあたりから支援物資について、新たな方針で対応するようです。物資の輸送、送付方法など指示があると思われます。当面、現在抱えている物資のリストを提出するように指示がありました。リスト作成のために、物資を抱えて折られる事業所はできるだけ早めに4号館にお持ちください。

義捐金が174万円となりました

組合員支部からの義捐金が毎日集まってきています。引き続き職員は一日分の給与を目安にカンパをよろしく願います。